



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.

THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN



国際会長主題 「とにかくやろうー成せば成る」

アジア会長主題 「とにかくやろうー成せば成る」

西日本区理事主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

中部部長主題 「楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」

クラブ会長主題 「返事は“へいほ!!”と気持ちよく」

2012年4月

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

会長 浅井 昭和
会計 小林 滋記

副会長 小塚 英史
直前会長 近藤 豊

書記 森本 征夫
連絡主事 中井 信幸



今月の聖句

「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」

ヨハネによる福音書 20章27節

4月例会案内

第一例会

日時：4月12(木) 19:00～21:00

場所：南山YMCA

卓話：「フィリピンワークを終えて」

講師：浅野真琴氏（フィリピンワーク団長）

名古屋YMCAが長年つづけているフィリピンワークが今年も行われました。マニラYMCAと名古屋YMCAは長年良好な関係を続けておりほぼ半世紀にわたって行われています。過去のワークも振り返りながら考えてみましょう。

卓話終了後次期中部のあるべき姿の展望を少し話したいと思います。出席の連絡10日までに中井主事までお知らせください。

第二例会

日時：4月19日(木) 19:00～21:00

場所：南山YMCA

議題：1. 5月例会作成

2. EMCについて

3. 中部のあり方

3月第一例会報告

日時：3月8日(木) 18:45～20:45

会場：名古屋YMCA 3階会議室

卓話：「官民で協働する堀川浄化作戦」

講師：服部 宏氏 堀川1000人調査隊事務局長

出席：浅井、荒川、近藤、小林、杉山、中井、

森本

本日の例会はプラザ、グランパスとの3クラブ合同例会で名古屋YMCAまで遠征、3クラブとゲストを合わせて34名の出席。プラザ大島会長の開会点鐘で例会スタート。服部氏は縁あって名古屋堀川ライオンズクラブに入会してから堀川再生のお手伝いを始められたそうです。平成15年に庄内川からの通水を増量すると水質、環境がどう変化するかを調査するため小中学校、大学、企業、一般市民、等々が参加して第一次堀川1000人調査隊、217隊2007名で調査が始まりその調査を受けて名古屋市があらたな実験を行いましたそれを1000人調査隊が検証するというステップアップでの官民での協働が続いていて現在、定点観測、自由研究、堀川応援隊が2338隊21362人になっているそうです。グランパスクラ

3月報告	在籍9名	第1例会出席	第2例会出席	メイクアップ	出席率
		7名	8名	1	100%

ブの服部会長より謝辞があり諸報告があり浅井会長の閉会の点鐘で終了、やはり大勢の参加者での卓話は良いですね。

3月第二例会報告

日 時：3月15日（木） 19：00～

場 所：南山Y N C A

出 席：浅井、荒川、小塚、小林、近藤、杉山、森本、中井

議 題

1. 台北クラブ訪日に対する人員配置、歓迎法など。

杉山ワイズより詳細な日程とそれに対応する人事配置があり、全員了承。いよいよ16名の台北よりのワイズの歓迎が本格化します。IBCとしてかなり活発な活動をしてきた南山クラブにとっては重要な位置づけとなるプログラムです。

2. 中部評議会への準備

3月20日の評議会に於いて次年度の中部の諸プログラムが確認、または承認されますと新年度が動き始めます。皆で協力し合って無事この年度を乗り切りましょう。

中部評議会報告

日 時：3月20日（祝）13：00～14：30

場 所：YMCA代官町会館会議室

出 席：浅井、荒川、小塚、小林、近藤、杉山、森本

幾つかの重要な議題がありましたが、南山クラブに関するものでは、次期中部部長と部会ホストクラブの確認、次期役員の承認と紹介、次期中部部会の承認などでした。また。部則の改定も行われました。詳しくは中部H. Pをご欄ください。

YYYフォーラム報告

出 席：荒川、中井

部評議会に続いてYYYフォーラムが開かれました。中日新聞にも取り上げられた通り、改めて1年前を振り返り、この1年をYMCAにつながるものとしてどのように対応し、行動をしてきたかを、考える貴重な会でした。3つの大きな報告がありましたが、第I部ではYMCAのリーダーを中心とした若い人達の被災地への想い、活動が取り上げられ

ました。若い時ならきつとあんな活動が出来たであろうが、年を取り出かければ足手まとい、口だけのボランティア活動になりそうで、体を使う行動は無理だな、それではいったい自分に出来ること何か、と自問すればなかなか明快な答えは出ずいらすることばかりです。

第二部では、「耳を澄まそう、フクシマの声」と題して福島在住で色々活躍されている3人の方々のパネルディスカッションが行われました。なかなか一般報道では報道されない現地の生の声を聞くことが出来ました。家族を愛西市に避難させ一人だけ福島に残り線量計測をされている丹羽さんからは、家族という問題を改めて考えさせられました。

3時からほぼ6時までの3時間がとっても有意義に過ぎていきました。名古屋にいと、一年前の大震災は、過去のことのよう薄れがちです。現地の状況は殆ど変わってなく、もっと悪い方向に向かっている要素も見受けられそのことはますます深刻になっていくようです。

台北中正ベータークラブ歓迎記

3月25日（日）

午後7時YMCA集合。YMCA車にてセントレアへ、現地で近藤さんと合流、ひと休みの後、ゲートに着くと予定より30分ほど早く到着済み、待つこと暫し、台北メンバーが次々と現れ懐かしい顔を見て旧交を温めました。ジャンボタクシー2台に分乗し栄の東急インへ、ホテル到着後、日程の最終確認をして第一日目を終りました。

出 席：浅井、荒川、小林、近藤、杉山



3月26日（月）

この日は一日市内観光の日。10時ホテル集合でまず名古屋城へ、桜はまだでしたがおおむね好天に恵まれ楽しい観光をしました。昼食は伏見まで帰り和食のランチ、その後大須へ行き大須を2時間ほど観光しました。ホテルに帰り4時出発で南山YMCAに向けて出発、南山を見学し例会場の神戸屋まで歩いて行きました。



例会は小林ワイズの司会で、開会点鐘、ワイズソングいつもの例会通り進められました。挨拶、自己紹介など話が弾み久しぶりの交歓にもかかわらず直ぐ打ち解けた会になり大変楽しい会でした。例会で加藤YMCA総主事に台北クラブより献金がありました。国際協力基金のほうへ使うそうです。

例会にご出席頂きました次期西日本区理事成瀬ワイズ、中部部長長谷川ワイズ、元中部部長大島ワイズYMCA総主事の加藤ワイズなど沢山の皆様ご出席ありがとうございました、

出席：浅井、荒川メン、メネ、小塚、小林、
近藤メン、メネ、杉山、深尾

ゲスト：成瀬（名古屋）、加藤（名古屋）
長谷川（東海）大島（プラザ）



3月27日

この日は、台北メンバーは下呂、高山旅行へ出発の日。朝6時30分にホテルを出発し名駅新幹線側のバス乗り場からバスで行くのですが、荷物が多く、バスはどこにいるか分からずバス探しが大変でした。朝のツアーバスの多さは春休みということもあり大変な数で、業者は旗を持って案内していましたが、個人資格ではどのバスに乗るかを探るのが大変でした。出席：荒川

3月28日

16時40分定期バスで高山より一行帰名、路線バスなのか、ツアーバスなのかが分からずあちこち奔走し何とか判明。近藤メンの手配のおかげで大型バスに、お陰でゆったり座ることが出来大変な感謝でした。6時過ぎに「なばなの里」へ到着、降りたと

たんに人の多さにびっくり、園内に入るとなお一層の人の多さにびっくり、食事をまとまって取ることは絶望、園内で自由に取ってもらうことに変更、6時30分に点灯の「光のトンネル」は通勤電車並みの混雑、でもそれに勝るきれいで台北メンバーもちょっと満足して頂けたようで安心しました。観光は2時間も掛らず予定を変更して少し早目に帰ろうとしましたが、時間通りまで現れないメンバーがいて結局予定通り、10時少し前にセントレアのホテルに到着しました。

出席：荒川、小林、近藤メン、メネ



3月29日

セントレアにて森本、小林が見送り無事この4日間を終えました。台北の方々に満足頂けたかどうかは分かりませんが、何とか南山の誠意が分かってもらえればと思います。又、台北であるいは仁川で同じような交流が出来ることを楽しみにしています。

出席：小林、森本



YMCAニュース

3月は年度末で、クラスの終了がありそのための報告書があり、スタッフも夜遅くまで準備に追われ

る毎日でした。幼稚園も卒園式があり、3年間この幼稚園で育った子どもたちが巣立ちの時を迎えました。成長した子供たちを見ていると「あ〜、YMCAの仕事していて良かったなあ。きっと一般企業では味わうことは難しいだろうなあ。」としみじみ思うことができました。でもまた卒園式が終わってすぐに年長さんだけのプログラムを行いました。リニューアルされた名古屋市科学館でのプラネタリウム見学やいちご狩りや野外料理とアクティブに活動しました。春休みに入って、サッカー名古屋グランパスのカップ戦があり、年長から3年生まで参加しました。やはり周りはレベルも高く、大差で負ける試合もありましたが、雨の中でも最後まで走り抜いた子どもたちには感動させられるものがありました。チャイルドケアに参加したお友だちもお出かけしたり、野外料理をしたり、いろいろなことを満喫できる日を過ごせました。

中井自身は白樺国際スキー場に39名の子どもたちを引率していきました。晴天に恵まれて、スキー焼けして帰ってきました。子どもたちを直接指導してけっこうハードなキャンプになりました。こういったプログラムが3月31日まで実施されて、2011年度は終わりました。多くの子どもたちが参加してくれたことに感謝いたします。

例会出席表

		3 ／ 8 第一例会	3 ／ 15 第二例会	3 ／ 20 中部評議会	3 ／ 20 Y Y Y フォーラム	3 ／ 25 29 IBC交流
1	浅井 昭和	○	○	○		○
2	荒川 文門	○	○	○	○	○
3	小林 滋記	○	○	○		○
4	小塚 英史		○	○		○
5	近藤 豊	○	○	○		○
6	杉山 弘時	○	○	○		○
7	中井 信幸	○	○		○	
8	深尾 俊雄					○
9	森本 征夫	○	○	○		○